

海軍瀬谷補給工場

岸本 正

日吉台地下壕保存の会々員

相鉄線瀬谷駅北側に位置する愛称「海軍道路」(現在環状4号線の一部)は我が家から国道246方面への抜け道としてよく利用する道路です。春には美しい桜のトンネルになることでも有名です。道路の西側は農業専用地区、東側は数年前に返還された米軍瀬谷通信施設跡の建物と草原、田畑やグラウンドなどが広がり、相沢川・大門川源流を含め市内でも広大な自然や農専地区が残る数少ない地区です。現在、一部が市民に解放されていて、米軍接收時にヘリポートとして使われていた土地などは休日には家族連れなどで賑わっています。来る2027年には「国際園芸博覧会(通称花博)」の開催予定地となっており、その後の再開発計画も検討されている場所です。

八王子街道へほぼ直角に接続する約3kmの一直線の道路に、私はつい最近まで海軍によって滑走路として使われていた名残りとばかり思っていました。ところが滑走路としての使用も視野に入れてはいましたが、元々は物資運搬用の軍用道路として



造成されたものであること、相鉄（当時は神中鉄道）沿線の他軍事施設との関連を色濃くもつことなどを知り、あらためてどのような施設がこの場所にあったのか調べてみました。

そのための資料として『地図で辿る瀬谷の移り変わり』（横浜瀬谷地図くらぶ編 2004 年刊）を参考にしました。主に各種地図を元にして地元の歴史を紹介していますが、防衛研究所や国立公文書館所蔵の一次資料にも当たっていることなどから信頼性の高い内容と思われまます。以下主にそれによる情報をまとめました。

まず、施設の名称ですが「瀬谷補給工場」の他、「横須賀海軍資材集結所」「第二海軍航空廠補給工場」「横須賀海軍軍需部火薬庫」などとも記されている資料もあります。位置や管轄の違いによるものと思われまますが「工場」というより火薬や爆弾を保管し海軍航空隊へ補給する役割を担っていたといひます。1941 年に主要航空隊付近に航空廠が設けられ、兵器の補給、修理や飛行機の整備、輸送などに当たったとのこと。組織上「瀬谷補給工場」は木更津にあった第 2 航空廠の指揮下にあり、1941 年から造成 43 年に開隊された厚木飛行場（相模野航空隊）や 1944 年に開設された高座海軍工廠と密接に関連していた施設といひます。つまり「厚木航空隊に関連し、その補給基地をはじめとする横須賀鎮守府の各種施設の補給施設および保管施設として機能していた」（同書）と考えられるといひます。

具体的な施設として、特徴的なのは火災防止のため蒸気機関車ではなく蓄電池機関車による引込み線が瀬谷駅から現在の海軍道路の東側に敷かれていたことです。



軌道の跡は現在歩道となっているようです。博覧会や再開発に向けても同じ位置に何らかの交通システムが検討されてい

るようですが、既に戦前から物資運搬目的の軌道が敷かれていたわけです。

防衛図書館資料によると、現在の上瀬谷小学校北側に入口があり、その付近に守衛所や衛兵控所と事務所や車庫が、八王子街道との接点付近東側にメイン施設である十数棟の火薬庫・爆弾庫が、西側にも空弾庫や部品倉庫があったようです。

興味深いのは、火薬や爆弾だけでなく、信管・落下傘・実弾・プロペラ・機銃・発電機などの航空物資と思われる部品類も保管されていた事実です。近隣の高座海軍工廠などで調達された物資が、必要に応じて厚木飛行場の航空隊に補給されていたことが想像



されま。さらに、酸素発生装置や毒ガス弾を格納していた覆土式の特薬庫があったことも記録されています。

現在遺る遺構としては、国道 16 号線との接点付近に見られる一辺が 8m 正方形の巨大なコンクリート製構造物、これは防火用水槽と推定されます。またそのすぐ近くに 4 基の基礎コンクリートブロック、これは油類などを入れた円筒形の容器を支えていたものと思われませんがそれぞれ明確な用途は不明です。これらは現在フェンスの中にありますが遠目に観察できます。

また、毒ガス弾を格納していた特薬庫、煙突基礎、覆土式特薬庫の掩体壕が遺るといいます（季刊「横濱」2017 秋号）。しかし、現在その多くはフェンスに囲まれていて、近寄ることはできません。花博の計画に伴ってこれらの遺構は近い将来消

滅することになるかもしれないので、今のうちに記録保存されることが望まれます。

戦後早い時期の航空写真を見ると、これら倉庫群の一部や引込み線の線路跡と思われるものが写っていて、ある程度正確な位置関係が分かります。今後機会があれば、地元住民やこの場所に勤務していた方々の証言を得たいと思っています。

市当局（瀬谷区役所区政推進課、都市整備局上瀬谷整備推進課など）は博覧会準備に余念がないようですが、この地が米軍接收時以前に日本海軍によって使われていた事実と一部の遺構が遺る貴重な戦争遺跡であることをより PR してもよいのではないのでしょうか。

2021/10/15

